

平成30年度第3回社会教育委員会議定例会（第30期） 会議録

| | | | |
|-------------------|---|--|--------------------------------|
| 会議名（審議会等の名称） | 平成30年度第3回社会教育委員会議定例会（第30期） | | |
| 開催日時 | 平成30年11月12日（月曜日）午後3時30分～午後5時 | | |
| 開催場所 | 文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター610大会議室 | | |
| 出席状況 | 委員 | 7人：今宮委員、齋藤委員、長谷部委員、秦委員、濱田委員、丸田委員、三好委員 | |
| | 事務局 | 2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流担当係長、同担当1人 学び交流担当（259-6104） | |
| | 関係各課 | 5人：文化スポーツ部長、図書・学び交流課長、文化振興課長、スポーツ課長、渋谷学習センター社会教育主事有資格者 | |
| | 傍聴人数 | 0人 | |
| 公開・非公開の状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | <input type="checkbox"/> 非公開 | <input type="checkbox"/> 一部非公開 |
| 非公開・一部非公開の場合はその理由 | | | |
| 審議又は検討経過及び結果 | <p>1 会議次第</p> <p>1 報告事項</p> <p>1) 平成31年度生涯学習振興補助金選考結果について</p> <p>2) つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センター及び渋谷図書館の指定管理者選定について</p> <p>2 協議事項</p> <p>1) 大和市生涯学習推進計画について</p> <p>2) 平成30年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>3) 家庭教育支援に関する事業について</p> <p>3 その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><事務局から配布資料の確認></p> <p><議長あいさつ></p> <p><報告事項></p> <p>1) 平成31年度生涯学習振興補助金選考結果について</p> <p style="text-align: center;"><文化振興課長より説明></p> <p>（議長）担当課からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。</p> <p>（委員）団体について説明をお願いしたい。</p> <p>（市）大和市内のコミセンや学習センターで練習している団体で、古くは中央文化会館時代の演奏会から、その後は観客も増え、シリウスができてからは年2回の演奏会を行っている。吹奏楽の甲子園と言われる全日本吹奏楽コンクールに関東大会、全国大会にも参加している。年明けの1月にも演奏会が行われる。メインホールを観客が埋め尽くすほど大人気の楽団である。</p> | | |

2) 各地区学習センター及び大和市渋谷図書館の指定管理者選定について
＜図書・学び交流課長より説明＞

(議 長) ただ今の担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたいが、まずこの指定管理者「やまとみらい」は全体の名前で、いくつかの会社・団体に構成されているということでしょうか。

(市) 「やまとみらい」は総称であり、グループの名称である。具体的には生涯学習センターは小学館集英社プロダクション、ホールとギャラリーを運営するサントリーパブリシティサービス、図書館は図書館流通センター、屋内こども広場がポーネルドと明日香の2社、ビルのメンテナンスや警備は横浜ビルシステムの全6社で構成されている。今回、ホールや屋内こども広場が無い場合、サントリーやポーネルド、明日香は登場の場面が少ないかもしれないが、各学習センターには保育室や、渋谷学習センターのホールなどがあるため、活躍の場面が多々ある中で、一体的な管理を「やまとみらい」へお願いしたいと考えている。

このあと議会を経て、3月までの間に指定管理者には事前に十分な引き継ぎを行い、図書・学び交流課や地区館の館長以下の職員とも綿密な協議をし、スムーズな移行ができるようにする。また、条例改正の際にもお伝えしたが、現在の学習センターは月曜日休館となっているが、今後は月曜日を開館し、休館日は年末年始のみとする予定であり、図書室も同様の予定である。

(委 員) 月曜日の開館はサービスの向上か。

(市) そのとおりである。

(委 員) 異なる会社の集まりということであるが、市の職員との連絡や調整のための会議は行われているか。

(市) シリウスやポラリス、中央林間図書館も同様であるが、毎月1回は必ず全体の会議を行っており、何かあれば報告を受けている。

(委 員) 要望を1つお願いする。時代の流れで指定管理者が施設の管理運営を行うという流れになっており、人件費などのこともあるかと思うが、民間に委託していくと、本来行政でやっていた社会教育がつつい置き去りになってしまう。生涯学習という言葉に隠されて、社会教育がつぶれていくということが無いように、学習センターでも社会教育の活動ができるような管理をお願いしたい。

(市) 社会教育委員会でもよく議論となるが、社会教育主事は公務員が前提であるため、指定管理者では配置ができない。ただし、社会教育主事の任用資格を持った人、大学で社会教育などについて学んだ人を採用し、配置して欲しいと伝えており、現在シリウスの本館にはそういった人も配置されている。また、新たな制度として社会教育士という制度・資格も検討されており、そういった人を中心に、社会教育の根幹は公民館からのスタートだと考えているため、しっかりと押さえていきたい。

(委 員) 今後のスケジュールについて教えてほしい。

(市) 配布資料裏面をご覧ください。10月24日～31日まで指定管理者「やまとみらい」に対し申込受付を実施し、期間内に事

業提案書が提出された。今後、教育委員会定例会が開催されるため、指定管理者の議案の付議を行う予定である。

12月議会で指定の議決後、平成31年4月1日から指定管理者の指定と協定締結、開館を予定している。

(議 長) 市内の学習センターはすべて指定管理となるか。

(市) そのとおり。

(議 長) 今までいた市の職員は引き上げるのか、人事上の話はどのようになっているのか。

(市) 現在各学習センターは、市の職員が館長以下3名程いる。また、非常勤特別職の社会教育指導員がいる。図書室については窓口委託という形で民間に委託しているのが現状である。

市の職員については引き上げ、市全体の定数の中で、別の部署へ配属されることとなる。委託している民間企業の方々や社会教育指導員については指定管理となるまでの期間の契約・任期となっている。

指定管理者も一定数の採用を行う必要があるため、勤務条件が合えば、お願いしたいと考えている。

(委 員) 今後の流れについて、社会教育主事がだんだん減ってきている。その中で、市の方では社会教育主事を置く計画があるのかどうか確認したい。

(市) ご質問の件について、現在各館にいる社会教育主事はいなくなるが、図書・学び交流課として、指定管理者と調整をしていく中では社会教育主事を置かないということは考えていない。現在も社会教育主事は図書・学び交流課にいるが、継続して講習に派遣していこうと考えている。

<協議事項>

1) 大和市生涯学習推進計画について

<事務局より説明>

(議 長) まず、この計画は「大和市生涯学習推進計画」とされており、学習という言葉があるが、2ページの位置付け3番目に、「本市の生涯学習、社会教育の推進施策の～」と記載がある。「、」で分けられているということは、生涯学習と社会教育が並列で記載され、国語的に言うと違う概念であり、両方大事だと読み取ることができる。また、本文には市民が学ぶ立場からどのように目指すか、生涯教育と生涯学習は異なる言葉であるが、生涯学習を行うにはそれを導く良い教育の場や方針、人材を育てていくのだということが記載されているとよりよいと考えるが、ここには書かれていない。並列的に書いてある社会教育というのは教える場なので、教える人を育てるということも生涯学習の重要な役割になるのではと考える。

生涯学習という視点で発言させていただいた。ニュアンスが違うと思うが社会教育の視点からご意見をいただきたい。

(委 員) 市の方針として、社会教育がきちんと位置付けられているので、

とても良いことだと考える。生涯学習の中に社会教育が潰れてしまうと、何か意見を言わなければならないが、生涯学習、社会教育ときちんと位置付けられているので良いと思った。確かに、社会教育という言葉は一切出てこない。ただし、施策目標2の「学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます」とある中に、学習者の支援とともに、学習支援者となる人材や団体を育成し、活用するとしっかり記載されている。ここで社会教育を担う人達が生涯学習する人たちに対し支援、サポートできるものだと具体的な目標につながる。ここに位置付けられていると感じた。ただし、「生涯学習推進計画」であるため、本文に「社会教育」という言葉が出てこないことは少し寂しいが、半分致し方ない。人材育成の部分が記載されているので、この部分に社会教育を位置付けていただければと考える。

(委員) 全体を見て、社会教育は年配者向けの考え方があり、子供や青年など年少者が置き去りにされてはいないかと考える。シリウスなどの大規模の施設もあれば、つきみ野学習センターや渋谷学習センターなど中規模の施設もある。その他児童館やコミセンなど全部含めて、どこかで取りまとめをやらなければならないと感じている。

(委員) 7ページには世代ごとの目標がこれまで通り記載があるので、それが前提とされているため、その点は納得できている。ただし、総合的にはどのように具体的な目標とするのか。

(市) 生涯学習なので、学校教育の話もあってよいものとするが、学習というところは学校教育基本計画も並行して位置付けられており、現在、シリウスやポラリス、地区の学習センターも日曜も夜まで学習室として会議室を開放していることもあり、多くの市民に利用いただいている。総合計画の中でも、活気に満ちた毎日を過ごすうえでの貴重な「居場所」との記載がある通り、「居場所」が多く使われており、総合計画のキーワードとなっている。シリウスにしても各地区館、コミセンにしても「居場所」というものが大きく、ここにいる高校生や中学生は今までどこで勉強していたのか、「居場所として」という所が重要と考えている。また、高齢の方なども一人で、家に閉じこもらず、家から外へという施策を行っている中で、「居場所」と記載させていただいたのが特徴である。

また、人材育成の話があったが、委員ご指摘のとおり、これまでもボランティア講師などがある。ボランティア講師ねっとわあくの利用も増えてきている状況であり、引き続き人材育成をしていく。

なお、別の機会で詳しく報告させていただきたいが、市民大学の拡充について、これまで大和市民大学はアカデミックでハイレベルな講座を実施している。この部分は変更せず、指定管理化により実施回数はこれまでより増えると考えている。それ以外にはすそ野を広げて、市役所各課の講座や財団などの講座を含めて、大きな生涯学習という中でひとくくり、大きな枠としてとらえ、市

民大学と整理する。大和市では健康ポイントを実施しているが、財団の講座を受けてもポイントを得られる仕組みにし、修了式などを行うことができたらいと考えているところであり、「居場所」と「市民大学の拡充」を冒頭に書かせていただいたものである。

人材育成の部分では、市民大学の中で市民講師というものを募集していこうと計画している。ここにいらっしゃる方には、みなさんにやっていただかなくてはならないと思うが、大和市民の中で1回2時間お話ししていただける方を募集し、ボランティア講師ネットワークもあるが敷居が高いと感じる方もいるため、並行しながら人材育成、人材獲得し、そういった中で生涯学習、社会教育の方向性を示すものとして計画を作っているところである。

(委員) 今のご説明にあった、市民が講師の制度というのは非常に良いことだと考える。各団体の講座で市民の方を対象としている講座も多くの方が参加している。市民講師については拡充いただきともよい取り組みである。

また、ポラリスについて、夕方中学生や高校生が学習しているのと同時に高齢の方が一生懸命歩いている姿もあり、非常に素敵な姿である。これまでの学習センターという年配の方がいるイメージであったが高校生などが時間ギリギリまで勉強している姿もあり、素敵な姿だと感じている。

(市) 先ほど委員より、若者についての話があったが、7ページに記載があるように、各年代、生涯各期に合わせた学習機会の提供は、計画のとおり進めていきたいと考えている。また、スポーツや芸術・文化についても文化スポーツ部では計画を3本改定する予定で進めている。文化芸術振興基本計画、スポーツ推進計画を同時に進めているが、その中でも小さい子供から若者、大人まで、スポーツや運動の機会というのを盛り込んで、各年代に合わせたあらゆる世代に対応した計画・学習機会の提供を進めていきたいと考えている。

(委員) 5ページの施策目標1の「誰もがいつでも気軽に学習できる場を提供します」との記載があり、とても素晴らしいことと考えるが、子供たちの間で非常に課題になっているのはインクルーシブ教育である。「誰もが」の中に、障がいを持った人、ハンディキャップをもった人の居場所として、学習を受け入れる体制についての記載がどこかにあってもよいのかなと感じている。

(議長) 4行目の、退職後、地域とのつながりが少ない方や同居家族のいない方などの「おひとり様」を対象に、ということばに少し引っかかるが大丈夫か。

(市) 「おひとり様」は、市では全体的に良い意味、良い言い方で広めようと思っている部分である。この10月には健康福祉部に、こういった方をトータル的にサポートする「おひとりさま支援担当」もできたところである。明るい意味で使っていただきたいという思いがある。

(委員) 最後に感想と意見を言わせていただくが、これまでの施策目標が

点でしかなく、線にならなかったが、今回変更されてようやく線につながった。

誰もが気軽に学習できる場を提供する。そこで学習することによって人と人をつなげる地域コミュニティの大切さがある。学習を充実するために、環境や人を育成する仕組みを充実する。これでようやく1本の線になった。現行の計画では点でしかなかった。誰もが気軽に学習できる場を提供する。その中でコミセンをどうするか。地域のコミュニティを大切にしている施設が市内にはコミセン20館あるが、地域に根ざすために作られたコミセンが活かされていない所があると感じている。そこに目を向けてもらえるとありがたい。そこも計画に入れていただきたい。

また、「人と人とのつながり、交流の場」は、地域コミュニティにおいて最も重要。では具体的にどうするのか。個別目標に出てくるのか。ただ場を作るだけではなく、交流の輪、人と人をつなぐということがどういったことなのか掘り下げて考えていく必要がある。交流の場で背中合わせになっていては意味が無いと思う。そこを考えていただけるとありがたい。

(市) この先、引き続き計画について情報提供させていただきたい。最終的には教育委員会からの諮問、社会教育委員会議から答申の流れとなる。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

<協議事項>

2) 平成30年度社会教育委員に関する研修会等について
事務局より説明後、出席委員の変更と、追加を互選により以下のとおり決定。

(前回会議からの追加・修正等)

・県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (茅ヶ崎市)

大澤委員→丸田委員へ変更

濱田議長追加

3) 家庭教育支援に関する事業について

<渋谷学習センター社会教育主事有資格者より説明>

(委員) 最初、対象は小学生だと思っていた。これが未就学児童になった。対象の問題が1つ、コミセンという場所は、市内全部からコミセンに集めるのは無理がある。シリアスやポラリスで実施するのがよい。

(委員) 本当は、学校でやるべきだと思う。学校のPTAを対象に実施し、各PTAに家庭教育学級を成人委員会等に作ってもらい、そこに社会教育主事または社会教育委員が入っていく。

(市) 今回は対象を未就学としたが、家庭教育では児童の場合と小学生

を対象とすることも検討の中に入れることもできる。

(委員) 行政的に言うと、中身は良かったが良さがわかってもらえない事業である。

(議長) では、こういった反省を踏まえ、次年度以降の事業について考え方について説明をお願いします。

<事務局より次年度に向けた実施に向けた課題説明>

(委員) 今回の草柳コミセンで実施したのは、小中学生の保護者及び対象者が対象者ではなかった。乳幼児及び保護者ではなかったか。

(市) そこは訂正する。今回は、幅広く乳幼児の保護者を対象とした。

(市) 補足をするが、9月に2回講座を実施し、追跡調査もかねて同窓会のような形で受講者を集めることを企画しており、1月後半あたりに同窓会のような形で受講者を集めて話し合いを行いたいと考えている。その時に、講座の実践をしているか確認するとともに、その市民を活かしていく方向を見出すために、企画立案に協力できる人に声をかけ、企画に参加させていくということも考えていきたい。詳細については企画書をあらためて提出する。

日程も社会教育委員に無理のない日程でくまらせていただく。

(議長) 事務局からは、来年度も家庭教育支援事業の可能性があるとの説明があったが、今日は時間が無いため十分な話し合いができなかったが、次回、1月に時間をとってもらい、来年度に向けてどうするかを具体的に考えたいと思う。

ここで議事を終わるが、1点確認をしたい。

青少年問題協議会から、青少年健全育成推進街頭キャンペーンで清掃活動を11月24日に行うとのことで、社会教育委員会議から他に出席可能な人がいるか確認するよう依頼があったが、可能な人はいるか。

(委員) 大和駅周辺におけるクリーン活動への参加という内容であった。

(議長) 11月24日に出席可能な人がいれば市の方に報告するが、もしあれば後で連絡してほしい。

(委員) 別件であるが、県の理事会で報告があった内容をお伝えする。

来年度について、県は引き続き今年度同様に動くとのことであった。引き続き地区研究会を2市が実施するとのことである。また、全国社会教育連合が財政面で厳しいようだ。

冊子「社教情報」について値上げせざるを得ないとの話があった。大和市は「社教情報」を値上げすると、予算取りの関係で購入冊数が減るとの話をした。来年度上がるということではないが、いずれそのようなことになるようだとのことであった。

(議長) では、次回の説明を事務局からお願いします。

(市) 次回、生涯学習推進計画の諮問・答申が行われる予定である。

日程は1月下旬で予定しているが、教育委員会の定例会後に諮問・答申となる予定である。教育委員会の日程が確定していないようなので、後日改めて各委員の都合を確認させていただき、候補日のうち、参加可能な委員の1番多い日に決めさせていただ

| | |
|-------------|--|
| | <p style="text-align: center;">く。</p> <p><閉会></p> |
| <p>会議資料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度第3回社会教育委員会議定例会（第30期）次第 ・第30期大和市社会教育委員名簿 ・平成31年度生涯学習振興補助金選考結果について ・各地区学習センター及び大和市立渋谷図書館の指定管理者選定の概要 ・大和市生涯学習推進計画について ・平成30年度社会教育委員に関する研修会等について ・平成30年度生涯学習センター事業実施結果報告書（渋谷学習センター） |